

はまだ剛史市長に聞きました



— 第23代高槻市長への就任おめでとうございます。就任されたお気持ちはいかがですか？

多くの市民の皆様のご支援をいただき、引き続き市政を担わせていただくことになりました。これまで以上にその重みを感じていますし、より一層全力を尽くす決意です。

— 今後4年間、特に力を入れる取組は何ですか？

まず、これまで取り組んできた事業を地道に着実に推進します。そして、お約束した重点施策の早期実現に努めます。子育て・教育の分野では、小中学校給食費と18歳までの子ども医療費の完全無償化です。給食費の恒久的な無償化に向け、中学校はすでに令和4年度に無償化し、小学校給食費も今般6月議会において無償化の議決をいただきました。子ども医療費についても無償化に向けた検討を進め、できるだけ早期に完全無償化を実現します。

— 給食費と子ども医療費の無償化は全国的に数少ない取組でとても期待しています。そのほかの重点施策はありますか？

JR高槻駅周辺や富田地区のまちづくりを推進します。特に高槻駅南地区の再開発は、さらなる飛躍の鍵になると考えており、民間主体のプロジェクトですが、市としても積極的に支援していきます。一方、高槻駅西口駅前に関西将棋会館が来年に移転することを機に、その周辺整備を進め、「将棋のまち高槻」を盛り上げていきます。

また、今年3月の高槻城公園芸術文化劇場のオープンは、高槻城公園の再整備の幕開けとなるものです。かつての高槻城を偲ばせる公園整備を進め、高槻のシンボルエリアを創出します。

それから、市の南部地区ですが、福祉とにぎわいの融合をコンセプトに、世代を超えて誰もが集える場所「地域共生ステーション」の整備を進めます。



はまだ剛史 Channel でギター演奏など市長のプライベートも配信しています。ぜひ、ご覧ください。



新たな飛躍をめざす市民の会

事務所：高槻市城北町1-14-6 荒木ビル1階
電話/FAX：072-674-1007 発行責任者：山本政行

はまだ剛史

検索



<https://hamada-takeshi.jp/>

討議資料

— 今後のまちづくりが楽しみです。施策を進める上で、心がけていることはありますか？

昔の偉人の話として天動説と地動説が典型例ですが、そういった話が好きで、固定観念にとらわれないということを常に意識していますね。検事、弁護士時代もそうでしたが、特に市長に就任してからは何かいいアイデアはないか、もっと工夫できないかと常日頃から考えています。

— どんな時、どんな場所、何をしている時にアイデアが浮かぶのですか？

時間も場所も問わず、市長室で座っている時、食事をしている時、テレビを観ている時、ギターを弾いている時などに思いついたり。常日頃いろんなことを考えていると、突然、脳が答えをだしてくれるというそんな感覚ですね。基本的には当事者意識を持つということ。市長として何をしなければならないかということの一つの核として常に思いの中に持っています。この思いは市民の福利のために仕事をするということです。そうすれば真剣に考えますから。

— 趣味などプライベートで取り組みたいこと、挑戦したいことはありますか？

いろんなことをやってみたいという気持ちはあるのですが、あれもこれもだと中途半端になってしまいますので、今、持っている趣味を極めたいと思っています。ギターもそう、将棋もそうです。なかなか時間がなくて上達しないのですが（笑）。

ただ、本を読むのが好きなので意識的に多くの本を読むようにしたいですね。読みたい本はたくさんあります。将来的にですが、歴史関係の勉強をもっとして、自分の好きなジャンルで本を書きたいなと思っています。今はまだ頭の中で構想を温めています。

— 締めくくりに、市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

新たな発想を常に追い求め、市民の皆さんに必要なとされる施策を推進します。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

はまだ剛史とともに

高槻新時代へ 濱田市政が新たにスタート



就任ご挨拶

5月1日、清々しい新緑と青空の下、第23代高槻市長として4期目のスタートを切りました。

8年振りとなる選挙戦では、3期12年のまちづくりの成果や高槻のさらなる飛躍に向けたビジョンを訴え、一方で、市民の皆様から市政への様々な期待の声をお聞きしました。その一つ一つをしっかりと受け止め、今後4年間、市民の皆様の信託に応え、市政運営に全力を尽くす決意です。

「子育て・教育トップランナー都市」、「健康医療先進都市」、「将棋のまち高槻」など、高槻の持つポテンシャルを最大限に発揮し、大阪の一自治体としての高槻から日本の舞台上で光り輝く高槻へ。これまで培った経験と持てる能力の全てを注ぎ、市民の皆様と共に高槻新時代を築いてまいります。

高槻市長 濱田剛史



定期総会・はまだ剛史市政報告会

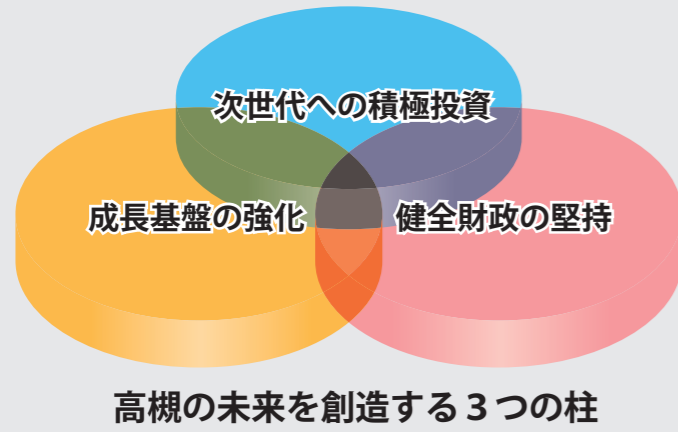
とき 2023年
10月7日(土) 14:00 開会

ところ 芸術文化劇場 北館3F レセプションルーム

令和5年度施政方針を表明

濱田市長は、令和5年6月21日の市議会定例会において、4期目の決意を新たに、令和5年度施政方針演説を行いました。固定観念に囚われず、柔軟な思考を維持するよう心掛け、これまでの発想になかった施策などを積極的に展開してまいります。今号では、濱田市長の決意とともに、施政方針に盛り込まれた主要な施策を紹介します。

令和5年度の市政運営



さらなる成長と飛躍への挑戦

子育て・教育

- ◆ 中学校に続き、小学校の給食費を完全無償化
- ◆ 18歳までの子ども医療費の完全無償化の実現に向け着手
- ◆ 学校図書充実、1人1台端末の効果的な活用による学力向上

安全・安心

- ◆ (仮称)防災研修センターの整備

健康・医療

- ◆ 質の高い医療・介護が受けられる健康医療先進都市の確立

にぎわいと活力

- ◆ 「将棋のまち高槻」の魅力年全国に発信
- ◆ 高槻城公園の整備
- ◆ 歴史遺産の活用等によるにぎわい・好循環の創出

都市機能

- ◆ JR高槻駅南地区や富田地区のまちづくりの推進

行政経営

- ◆ 改革の推進による持続可能な行財政基盤の確立

都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

- JR高槻駅南の再整備に向けた取組を積極的に支援
- 富田地区のまちづくり基本計画を策定
- 木造住宅、分譲マンションの耐震化を促進
- 富寿栄住宅の建て替えを推進
- 新 ■ 高槻駅前線(JR高槻駅~上宮天満宮)の無電柱化と美装化を推進
- 水道施設、下水道施設の老朽化対策・耐震化を推進



子育て・教育の環境が整ったまち

- 新 ■ 未就園児の預かりモデル事業を実施
- 子ども医療費助成の完全無償化を検討
- 新 ■ 新生児聴覚検査の費用助成を実施
- ひとり親家庭等の養育費の履行確保を支援
- 全ての妊婦の健診費用助成の拡充を検討(全国トップへ)
- 新 ■ 中学校に続いて、小学校でも恒久的な給食費無償化を実現
- 中学校全学年でも35人学級編制を実施
- 小学校5・6年生でも家庭学習支援を推進
- 新 ■ 蔵書の増冊を計画的に行う「学校図書シン100万冊計画」を推進



安全で安心して暮らせるまち

- 市民防災協議会と協働して各地区の地域防災力を強化
- 防災行動を整理したコミュニティタイムラインを各地区で策定
- 多機関連携型のタイムラインを策定
- 新 ■ 「(仮称)防災研修センター」の整備を検討
- 詐欺電話対策機器の無料貸出を実施
- 多機能型消防団等訓練施設の整備を促進
- 新 ■ 犯罪被害者等への新たな支援制度の創設を検討



健やかに暮らし、ともに支え合うまち

- 新 ■ がん検診の無料実施の継続、新たなセット健(検)診を実施
- 新 ■ 質の高い医療・介護が受けられる健康医療先進都市を確立
- 新 ■ 「(仮称)地域共生ステーション」の基本計画を策定
- 持続可能な救急医療体制を確保
- 新 ■ グラウンドゴルフ場の整備を検討



良好な環境が形成されたまち

- エコハウス補助金等により省エネ・創エネ機器設置等を支援
- 新 ■ 太陽光発電施設の適正な設置を誘導する条例の制定
- 新 ■ 阪急高槻駅前等の公衆トイレ再整備を推進

地域に元気があって市民生活が充実したまち

- コミュニティ市民会議や各地区コミュニティのまちづくり・防災活動を支援
- 将棋文化の振興(将棋大会、将棋まつり、将棋サミット開催、将棋駒・副読本配布等)



魅力にあふれ、にぎわいと活力あるまち

- 定住促進プロモーションを積極的に展開
- 国史跡の芥川城跡を始めとした「歴史のまち高槻」の魅力を発信
- 芥川緑地に健康づくり公園を整備(関西最大級の数の健康遊具)
- 農業の担い手の育成・確保、遊休農地の解消を推進
- 第5弾プレミアム付き商品券を発行
- 市外からの企業誘致や市内企業の事業活動を支援



効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

- 新 ■ 全庁的なDX施策を推進
- 新 ■ 「デジタル市役所」の実現(行政手続きのオンライン化)

※新は新規施策

「大阪の高槻」から「日本の高槻」へと飛躍